

(株) 金沢適応カウンセリング & 研究センター

国内外で学んだ知識を生かし 心の問題の解決をサポート

法人化することで 信頼感と安心感を

金沢適応カウンセリング&研究センターでは、(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認める「臨床心理士」と国家資格である「公認心

理師」を取得した長尾紀久子社長をはじめ、提携するカウンセラーらが、心の問題を抱える人々の性格や気質に合わせて心理カウンセリングや心理療法を実施し、問題解決をサポートしている。

ももとは大学で経済学を学ん



個人カウンセリングのほか、企業や介護施設などでのメンタルヘルス対策もサポートする長尾紀久子さん。

その後、金沢市内のホテルでウェディングプランナーとして働いていた長尾さん。退職後、以前から興味を持っていた心理学について大阪大学大学院で学んだほか、ハーバード大学医学部で子どもの脳機能の発達について研究し、それらの成果を生かそうと、起業を志した。祖父母や親戚などの多くが経営者で、その姿を幼い頃から間近で見えて来たことも長尾さんの背中を押した。

長尾社長によれば、同様のサービスを提供するカウンセリングルームのほとんどは個人事業主が経営し、中には資格を持たずに営業している人も多いという。起業に当たっては、こうした業界の現状を考慮し、個人よりも法人の方が、信頼度が高く、安心して利用してもらえるだろうと、株式会社の設立を選択。また、将来的に公認心理師が働く母体になればとのビジョンを描き、その際、雇用される人は法人の方が安心して勤められるだろうとの思いもあった。

利用者ニーズに合わせ メニューを開発

立ち上げ当初は、利用者の獲得に苦勞した。そんなとき、認知度アップにつながったのが、2014年11月にISICOが主催したビジネスプランコンテストだった。長尾社長は、「心理学と脳科学を組み合わせ、心理カウンセリングと社会適応技能トレーニングを施し、人の心と行動を成長させるサービス」について発表し、114人の応募者の中から優

秀起業家賞に輝いたのだ。

とはいえ、コンテストで発表したビジネスプランは思い描いた通りには実現できなかった。というのも、ビジネスプランでは、脳機能測定装置で測定したデータを解析し、脳波のリズムを整えることを目指していたのだが、大部分の利用者が測定に難色を示したのだ。

そのため、脳科学の活用は断念したが、その後も「持続的にさまざまな人の力になりたい」と、利用者のニーズに合わせたメニュー開発に力を入れている。例えば、2年前から始めた「グループセッション」もその一つ。これは人と関わるのが苦手な人などに対して、同じような悩みを持つ人たちとの話し合いと個人カウンセリングを交互に積み重ね、徐々に改善を促すメニューで、利用者からは「人前での振る舞い方が分かった」「アルバイトに行けるようになった」など、喜びの声が届いている。

こうした取り組みが実を結んでいるほか、近年、メンタルヘルスケアに対する社会的な関心やニーズが高まっていることもあって、企業など法人からの受注が増え、利用者数と売り上げは順調に伸びている。

ISICOの紹介で 企業向けセミナーの講師に

ビジネスプランコンテストの受賞者に対して、ISICOが実施する継続的な支援も経営の安定化に寄与した。

「まだ仕事が少ない時期、

ISICOが紹介してくれたおかげで、県内企業が社員向けに実施するストレス対策セミナーの講師を務めることができた。また、経営上のさまざまな疑問についてISICOに相談すると、社会保険労務士や税理士、弁護士、弁理士といった専門家に気軽に話を聞ける場を作ってくれたことも助けになった」(長尾社長)。昨年10月には、ISICOの推薦が(公財)いしかわ女性基金が主催する「いしかわ女性のチャレンジ賞」の受賞にもつながった。

精神疾患を患う人が増え、心のケアがますます重要性を増す中、長尾社長は今後も専門性に一層磨きを掛ける考えで、その一方で、地域における心理職のレベルアップに貢献していきたいと意欲を燃やしている。

(株)金沢適応カウンセリング& 研究センター

金沢市袋町1-1 ル・キューブ金沢4階
TEL. 076-255-1245

- 代表者 長尾 紀久子
- 設立 2014年7月
- 資本金 200万円
- 従業員数 1名
- 事業内容 心理カウンセリングおよび心理テスト、心理検査報告書作成、データ解析サービス

<http://www.k-crc.biz>



ISICOの推薦で、いしかわ女性基金から「いしかわ女性のチャレンジ賞」を贈られた。